

韓国の最新知財ニュース



柳鍾宇（ユ・ジョンウ）

GIP Korea特許法律事務所 代表弁理士

韓国弁理士、大韓弁理士会（KPAA）/代議員

<韓国、5大特許強国のうち国際特許出願（PCT）の成長率が1位に！>

韓国特許庁は、2024年の韓国の国際特許出願（PCT）が前年2023年に比べて7.1%増加し、2020年にドイツを抜いて5位から4位に浮上して以来、5年連続で世界4位を維持したと明らかにした。特に、前年度に比べて国際特許出願の増加率は米国（-2.8%）、中国（0.9%）、日本（-1.2%）、ドイツ（-1.3%）など5大特許強国のうち最も高いことがわかった。

世界知的所有権機関（WIPO）によれば、2023年に減少した全世界の国際特許出願は1年ぶりに増加（273,900件、前年比0.5%）し、マドリッド商標出願（65,000件、前年比1.2%）とハーグ意匠出願（9,454件、前年比10.3%）とともに増加し、世界中の企業が海外市場で自社製品を保護して事業化するべく、国際出願サービスを多く活用していることがわかった。

全世界におけるPCT出願の上位5大企業としては、三星電子（2位、4,640件）とLG電子（4位、2,083件）など韓国企業が2社、ファーウェイ（1位）とCATL（5位）など中国企業が2社、クアルコム（3位）など米国企業1社が含まれていることが明らかになった。

三星電子は国際特許出願が前年比18.2%増加し、全世界の上位10大企業のうち最も高い出願増加率を記録し、LG電子も去年の6位から2段階上昇して4位となった。

国際特許出願の上位20の大学には韓国のソウル大（5位）、漢陽大（15位）、高麗大（18位）、延世大（20位）など4つの大学が含まれる。

韓国企業の2024年マドリッド商標出願は2,346件（前年比12.1%）で、前年と同様に世界で9位を記録し、2020年以降、ここ5年間の平均増加率も上位10ヶ国のうち唯一二桁の成長率を示した。

一方、韓国の2024年ハーグ意匠出願は892件（前年比8.1%）で、中国と米国に続き世界3位（前年同）であり、ドイツ（4位）、フランス（5位）、スイス（6位）、イタリア（7位）、日本（8位）などが続いた。

韓国特許庁は、海外に進出したり進出を希望する韓国企業の国際的な知的財産権の確保及び紛争調停を支援するため、韓国特許庁と世界知的所有権機関（WIPO）の人材交換プログラムとして韓国特許庁に初めて派遣されたWIPO本部の職員とともに関連サービスを持続的に案内し